

農業振興計画について

(沖縄県名護市・総合計画-その7・基本計画-3)

正会 同1 大竹康市 同2 地井昭夫 同3 重村力 同4 沢田甚三郎 同5 中村誠司 同6 内田栄司 同7 菊野憲一郎

1. 戦后沖縄農業の展開

別稿ですでに述べたように、戦后沖縄農業は大きく3つの時期に分けられる。①戦后-50年・基地経済に収れんする縮小再生産農業の時代。②60年代・基地経済強化とそれに伴うパイン開墾、営農技術の"革新"と特産農業の時代。③70年代・復帰、海洋博などによる経済混乱、買占めによる農地破壊と農業公害収斂の時代。

2. 沖縄北部農業の課題

1). 自然資源特性に見合ったそれを活用する農業体系の確立、2). 従来の"山原型土地利用体系"をふまえた新しい土地利用の展開、3). 地域に見合う技術による耕畜結合や輪作方式の確立、4). 水と土のコントロールを主体とした土地基盤の整備、5). 家族複合経営から地域複合経営(集落農業)の確立、6). 農林産物の地場産業化の促進、7). 労働力、土地、資本、技術の合理的交流と配置を目的とした協業、共同経営へ、8). 地域農民の手による流通機構の整備促進

3. 農業地域計画の方法

以上の課題(目標)設定につづいて図-3のような計画方法論によって、名護市全農家(3600戸)全集落(坊集落)の土地・労働力分析、耕畜構成の現況分析を行ない、そこから各集落グループの営農基本型と展開のプログラム、その将来予測、モデル集落の設計、流通機構整備計画などを行った。

4. 予測値の検討と課題

以上の結果、'85年における農業総生産は約47億円となり、'71年の約2倍の伸びが見込まれる。これは相当慎重な手法に基づいており、今後の国県の農政建直しや流通機構の整備(現在筆者らの参加によって「実施計画」を作成中である)によって、より大巾な伸びは充分可能と思われる。

最後に、この調査・計画に当たっての農民の方々や各農協、名護市、普及所、沖縄県、琉大などの関係各位のご助言、ご協力に深く謝意を表します。 註-1 大竹、地井、重村「山原の郷土計画から」学会建築雑誌 50年5月号。

図-1. 沖縄の農村地域破壊のメカニズム

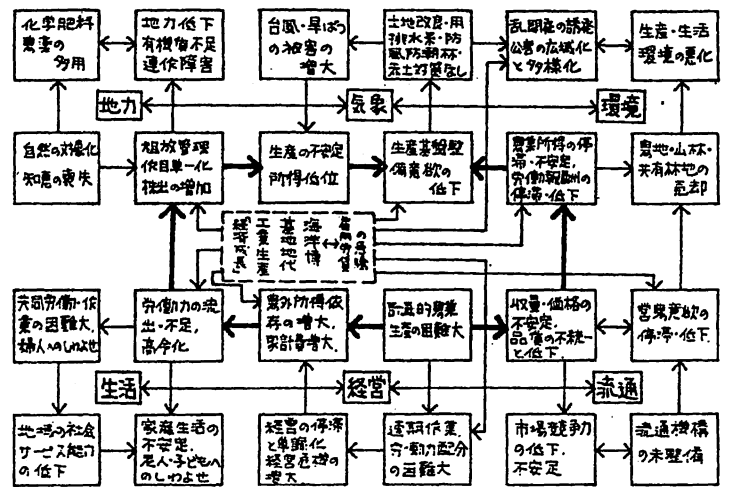
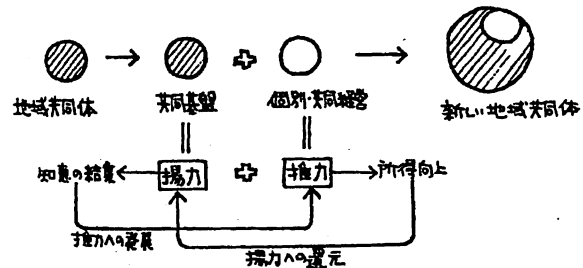


図-2. 突破のモデルと新しい地域共同体のイメージ

- <突破の論理> <破壊のメカニズム>
- 1) 副業体系モデル --- 生活破壊
- 2) 環境保全モデル --- 環境破壊 (図-7 参照)
- 3) 作目体系モデル --- 地力破壊 (図-8 )
- 4) 集落営農モデル --- 経営破壊 (図-6 )



{ 共同営農..... 推力の論理 - 必要消費を抑制する }  
{ 血代営農..... 推力の論理 - 総体としての所得向上 }

図-3. 農業地域計画の方法

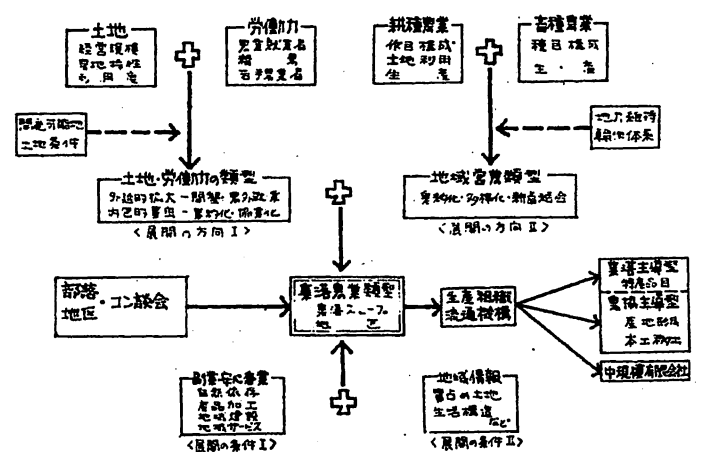


図-4. 名護農業の分析 (土地・労働力資源)

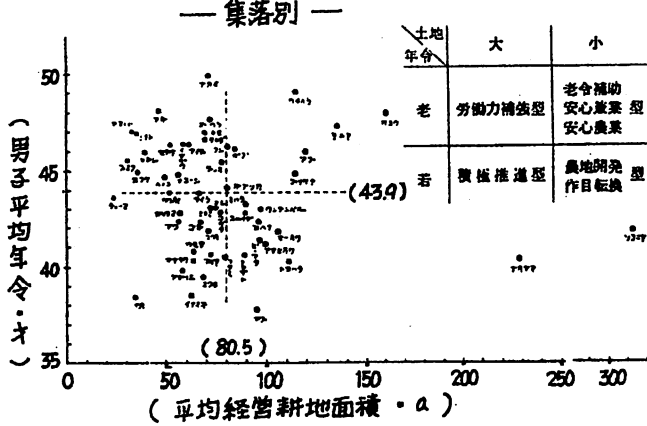


図-5. 名護農業の分析 (耕種と畜種の分離)

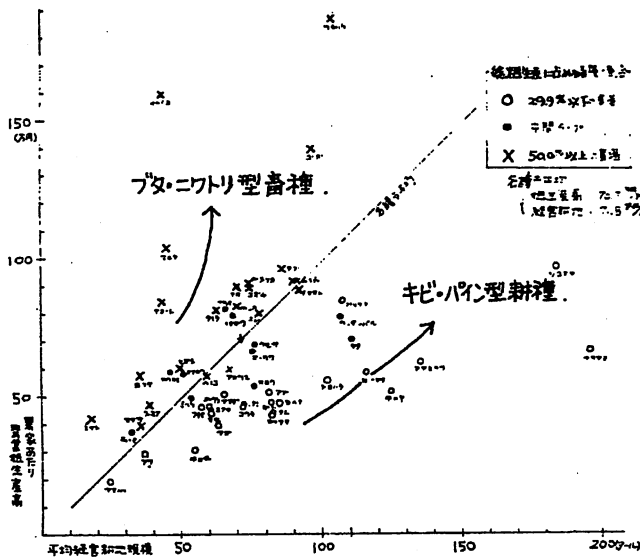
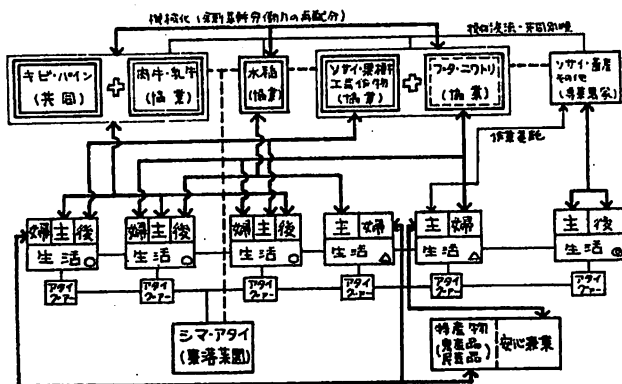


図-6. 集落営農モデル



生産(流通)組織: 集落主導型, 労働主導型, 連合型(中央機関併設)

労働力: 主: 主人, 婦: 婦人(専任), 後: 後継者

農具: ○: 普通農具, △: 兼業農具, ⊙: 専業農具

関係: ←→: 労働力関係, —: 物産関係, ---: 肥料(他)関係

\*1 島設計集団, \*2 広工大講師, \*3 島設計集団・早大吉阪研, \*4 首都圏総合計画研究所, \*5 名護市役所企画室, \*6 竹中工務店設計部, \*7 島設計集団

図-7. 環境保全モデル

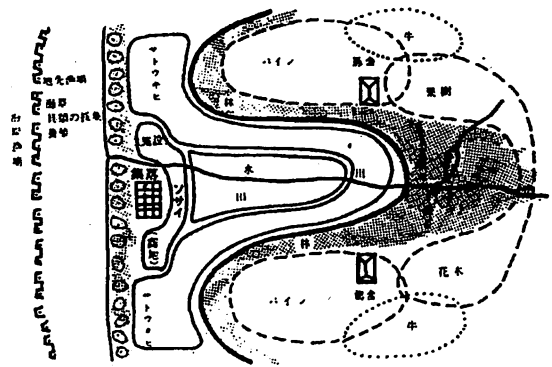


図-8. 営農基本型の設定

基本型	I. 水稲・ソサイ型	肉用牛	ブタ	ニワトリ	ヤギ	
	II. サトウキビ型	キビ	+	○		
	III. パイン型	パイン	+			
	A. 耕種基本型	水稲	+	○	+	○
		ソサイ	○	○	+	○
	果樹	○	○			
	その他		+	+		

○: 肥料(畜一耕)  
+: 飼料(耕一畜)

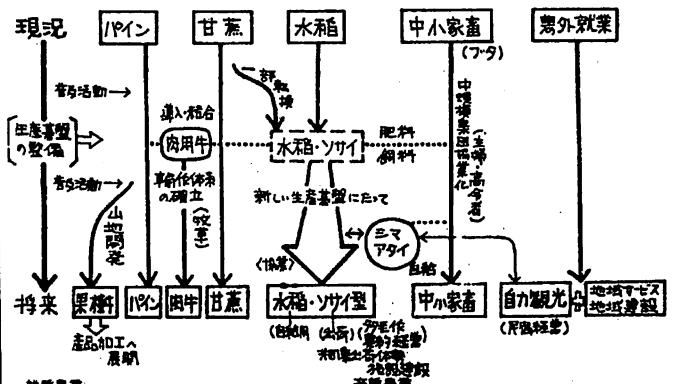
A. 耕種基本型

C. 地域営農の型

- a. (水稲・ソサイ) ⇄ ブタ・ニワトリ・ウシ
- b. (サトウキビ・ソサイ) ⇄ ブタ・ニワトリ・ウシ
- c. (サトウキビ・牧草) ⇄ 肉用牛
- d. (パイン・牧草) ⇄ 肉用牛
- e. (果樹か工芸作物) ⇄ ブタ
- f. 放牧場

B. 耕種結合の型

図-9. 集落グループの営農プログラムと予測



耕種農業	将来予測(1985)		粗生産高(1985)	
	ha	%	万円	%
合計	199	100.0	141,818	100.0
サトウキビ	55	27.6	32,752	23.1
パイン	20	10.1	6,134	4.3
果樹	15	7.5	6,508	4.6
水稲	59	29.7	28,330	20.0
ソサイ	41	20.6	57,564	40.6
工芸作物	-	-	-	-
その他	9	4.5	10,530	7.4
経営耕地	142	71.1	-	-

畜産農業	将来飼養頭数		粗生産高(1985)	
	頭	%	万円	%
合計	2,300	100.0	83,677	100.0
肉用牛	500	21.7	31,655	37.8
ブタ	250	10.9	19,495	23.3
ヤギ	200	8.7	707	0.8
採卵鶏	500	21.7	780	0.9
ブロイラー	20,000	87.0	31,040	37.1

予測については、23項目の前掲条件を設定したが、これはあくまで